

平成 28 年 度

## 「経営発達支援計画」事業実施報告書

(事業の実績・評価・見直し結果)

高根沢町商工会

## 概 要

本報告書は、経営発達支援計画に基づき、高根沢町商工会が平成28年度に実施した事業の実績、評価及び見直し結果等についてまとめたものである。

国に提出するほか、当商工会のホームページに掲載し、地域の小規模事業者が閲覧できるようにしている。

なお、評価及び見直しにあたっては、「高根沢町商工会経営発達支援計画検討委員会」を組織して、外部有識者等を活用し、公平かつ幅広い意見を取り入れて審議を行った。

## 高根沢町商工会経営発達支援計画検討委員会

### ■ 目 的

経営発達支援計画の年度目標(P)に対する実績(D)の報告を受け、目標達成事業の効果、未達成事業の理由や原因について評価・検証(C)し、推進方法等の見直し(A)を審議する。審議結果を商工会の理事会等へ報告し、次年度以降の事業に反映させていく。PDCAサイクルを有効に回すことで、計画の実効性を高める。

### ■ 組 織 (委員名簿)

No.	役 名	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
1	委 員 長	東 健司	株式会社U I 支援コンサルティング 中小企業診断士
2	副委員長	佐藤 金司	商工会副会長
3	委 員	野中 昭一	商工会会長
4	委 員	鈴木 章	商工会副会長
5	委 員	神林 秀治	商工会商業部長
6	委 員	中條 昌明	商工会工業部長
7	委 員	澤畑 宏之	商工会建設部会長
8	委 員	大橋 智行	足利銀行宝積寺支店長
9	委 員	鈴木 文男	烏山信用金庫宝積寺支店長
10	委 員	大山 晃一	栃木銀行宝積寺支店長
11	委 員	原 隆文	日本政策金融公庫宇都宮支店 融資第2課長
12	委 員	小菅 真守	高根沢町産業課長
13	委 員	宮澤 豊	商工会事務局長
14	委 員	斎藤 勝也	商工会経営指導課長
15	委 員	矢野 和美	商工会主査

### ■ 会議開催状況

#### ・ 第1回検討委員会

日時：平成28年9月2日（金）14:00～15:00

場所：高根沢町商工会 会議室

#### ・ 第2回検討委員会

日時：平成29年2月24日（金）13:00～15:00

場所：高根沢町商工会 会議室

## 1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

経営発達支援事業の目標達成に向け、「地域の消費者及び小規模事業者の経済動向実態を把握すること」を目的に、各種調査を活用した地域の経済動向に関する情報の収集・整理・分析及び提供を行う。

「地域と事業者の現状と地域の課題の“見える化”」効果を図る。

### (1) 実施した事業内容

#### ① 高根沢町の経済動向調査

実施時期：平成28年12月

調査対象者：町内商工業者 55社

調査方法：職員が巡回訪問し、説明聞き取り調査

目的：地域と事業者の経営状況の分析及び事業計画の際における、指標（勘案すべき条件）としての有効活用及びHPへの掲載による情報公開

#### ② 実施支援に係る情報提供回数

商工会HPによる情報提供及びeメール登録者への情報提供。

### (2) 今年度の目標及び実績等

項目	(☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)		
項目	目標	実績	達成率
① eメール送信回数	12回	0回	0.0%
② ホームページ更新回数	8回	15回	187.5%

### (3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今年度は、初年度ということもありスムーズな事業運営ができなかった。Eメールによる情報提供が、昨年度6回程度送信できたが、ホームページやeメール送信システムを変更したため実施できなかった。今回、アンケート調査や報告できる仕組みを構築したので、次年度から積極的に実施したい。

#### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

### (4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

<input type="radio"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

### (5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判定

C

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

### (6) 次年度目標

項目	(☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	
項目	29年度	今年度比
① eメール送信回数	18回	+6回
② ホームページ更新回数	10回	+2回

### (7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

eメールの情報提供について目標達成に向け積極的に実施する。

## 2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記1. 地域の経済動向調査を踏まえ、「個々の事業者の経営課題を抽出し、事業計画策定の方向性、必要となる需要動向情報の種類・開拓方法を見極めること」を目的に、巡回、窓口相談、各種セミナーの開催、専門家派遣事業等の活用により、販売する商品・サービス（技術）の内容、保有する技術・ノウハウ、従業員等の経営資源、財務、その他の経営状況の分析を行う。分析結果により抽出された課題については、その解決に向けた事業計画の策定支援へと繋げる。

小規模事業者に寄り添い、目線を合わせることで、「課題の深化と本質を見極める」効果を図る。

### (1) 実施した事業内容

#### ① 経営分析対象者の掘り起こし

全職員（6名）が、重点支援対象事業者を中心に小規模事業者の巡回訪問のほか、金融・経営指導等を通じて、経営分析が必要な事業者の掘り起こしを行った。

#### ② 経営分析に係る巡回訪問延べ回数

補助金申請予定者を中心に、巡回支援を行った。

#### ③ 経営分析に係る講習会・セミナー受講者数

外部の中小企業診断士を講師として招聘し、経営課題や自社の強み弱み等を抽出するための分析方法を習得することを目的に集団セミナーを開催した。また、個別な案件に対応するため、個別相談会を開催し個別特殊案件に対応した個別セミナーを実施した。

#### ④ 経営分析事業者数

補助金申請予定者（7名）及びランクアップ申請事業者（2社）・「経営計画策定セミナー」参加者（1名）を中心に、巡回支援を行った。

### (2) 今年度の目標及び実績等

項 目	(☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)		目標	実績	達成率
① 経営分析対象者掘り起こしに係る巡回訪問延べ回数			320 回	424 回	132.5%
② 経営分析に係る巡回訪問延べ回数			24 回	34 回	141.7%
③ 経営分析に係る講習会・セミナー受講者数			15 者	10 者	66.7%
④ 経営分析事業者数 ☆			32 者	10 者	31.3%

### (3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらか	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

補助金対応など、目的をもった経営分析に出席者が集中した。また、金融に絡んだ個別経営分析相談があった。

#### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

### (4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらか	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

	拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
○	一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
	縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
	現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

\*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえて、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判定
C

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)  
B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)  
C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)  
D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 経営分析対象者掘り起こしに係る巡回訪問延べ回数	370 回	+ 50 回
② 経営分析に係る巡回訪問延べ回数	28 回	+ 4 回
③ 経営分析に係る講習会・セミナー受講者数	20 者	+ 5 回
④ 経営分析事業者数 ☆	37 者	+ 5 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し(改善等)

セミナー募集時の名称等に工夫が必要(むずかしそうな名称だった)。また、参加者の意見を聞く仕組みを考える。

### 3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記2. 経営状況の分析結果、及び下記5. 需要動向調査に基づき、「個々の事業者が経営課題を解決し、需要を見据えた事業計画を策定すること」を目的に、巡回や講習会等を通じて、計画策定の指導・助言を、栃木県、近隣の商工会等とも連携し行う。

また、創業・第二創業（経営革新）者には、目指す方向性を確認し、計画策定の指導・助言を行う。

小規模事業者に寄り添い、事業者に“気づき”を与えることで、「計画の実効性を高め」効果を図る。

#### (1) 実施した事業内容

##### ① 創業予定者に対する計画策定個別支援

創業予定者（6者）に対して、金融・経営等の基礎データを作成するため「創業計画書」を作成するよう指導するとともに作成内容について、伴走型で個別支援した。その結果（3者）が創業した。

##### ② 経営計画策定

当商工会が所属する第2ブロックの7商工会（矢板市・塩谷町・氏家・喜連川・那須烏山・那珂川・当商工会）青年部・女性部を中心に、参加事業者の事業の方向性・経営理念等を考える「経営計画策定セミナー」の開催に伴い、事業計画策定の指導・助言を行った。今年度は、10/4・10/12・10/17・10/26の合計4回開催し、当商工会から1事業所が参加した。

#### (2) 今年度の目標及び実績等

項目	(☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)		
項目	目標	実績	達成率
① 計画策定支援に係る巡回訪問延べ回数	36回	34回	94.4%
② 計画策定支援に係る講習会・セミナーの受講者数	18者	9者	50.0%
③ 事業計画策定事業者数（見直しを行った者も含む）☆	35者	10者	28.6%
④ 創業支援者数	3者	6者	200.0%

#### (3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとおと	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

高根沢町が実施している「高根沢町創業支援事業計画推進連絡会議」に参画し、常に情報の共有を図りある程度結果がでた事業である。

##### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？  
有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？  
効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

#### (4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとおと	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
<input type="radio"/> 一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
<input type="radio"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
<input type="radio"/> 廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
<input type="radio"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他

\*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえて、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判定
C

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)  
B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)  
C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)  
D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 計画策定支援に係る巡回訪問延べ回数	48 回	+ 12 回
② 計画策定支援に係る講習会・セミナーの受講者数	23 者	+ 5 回
③ 事業計画策定事業者数 (見直しを行った者も含む) ☆	41 者	+ 6 回
④ 創業支援者数	4 者	+ 1 回

- (7) 次年度目標の達成に向けた見直し (改善等)  
先進事例を公表できるようにする。

#### 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記3. 事業計画策定支援を行った事業者に対し、「事業計画に従って行われる事業が、確実に実施され、課題が解決されること」を目的に、“伴走型”の指導・助言を関係機関とも連携して行う。  
小規模事業者に寄り添い、継続して支援することで、「計画の（修正・見直し対応も含めて）実効性を高める」効果を図る。

##### (1) 実施した事業内容

- ① 小規模事業者持続化補助金申請者へのフォローアップの実施  
平成27年度補正「小規模事業者持続化補助金」申請事業者に対して、計画の確実な実施へ向けて定期的巡回訪問による支援を行い、事業計画の進捗管理を実施した。
- ② 創業交流会（創業c a f e）の共同開催  
平成28年6月22日商工会ホールにて43名の参加者にて開催。創業希望者、創業者、農商工業者、高根沢高校が参加して創業者（2者）の事業プランをプレゼンする。現在の課題などをテーマに、参加者全員が発言し易くなる環境をつくりながら、各種意見調整を図りながら、創業後の不安や創業予定者の課題を解消していく。

##### (2) 今年度の目標及び実績等

項 目	(☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)		目標	実績	達成率
① 実施支援に係る巡回訪問延べ回数			36 回	34 回	94.4%
② 実施支援に係る支援策の周知・提案件数			12 回	10 回	83.3%
③ 実施支援事業者数			35 者	10 者	28.6%

##### (3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとおとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

高根沢町・金融機関・不動産業者が情報を共有し、創業者に対して有効な情報を迅速に伝えられるなど、創業実現に成果が上がっている。

##### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？      妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？  
有効性：成果は上がっているか？効果は？      効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

##### (4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとおとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

\*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）



(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえて、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判定
C

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)  
B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)  
C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)  
D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 実施支援に係る巡回訪問延べ回数	48 回	+ 12 回
② 実施支援に係る支援策の周知・提案件数	16 者	+ 4 回
③ 実施支援事業者数	41 者	+ 6 回

- (7) 次年度目標の達成に向けた見直し(改善等)  
計画策定者の人数を増加させること。

## 5. 需要動向調査に関すること【指針③】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記2. 経営状況の分析を行った事業者に対して、経営分析で把握した事業者の販売する商品・サービス（技術）の需要動向に関する情報について、「将来性判断に有効かつ最新の情報として提供すること」を目的に調査・収集、整理及び分析し、上記3. 事業計画策定支援時、又は、上記4. 事業計画策定後の実施支援に係る巡回訪問時や窓口相談時に提供する。

小規模事業者に寄り添い、情報を噛み砕いて分かりやすく提供することで、「的確な経営判断を行う」効果を図る。

### (1) 実施した事業内容

- ① 高根沢町の経済動向調査  
 実施時期：平成28年12月  
 調査対象者：町内商工業者 55社  
 調査方法：職員が巡回訪問し、説明聞き取り調査  
 目的：地域と事業者の経営状況の分析及び事業計画の際における、指標（勘案すべき条件）としての有効活用
- ② 地域経済動向調査  
 ・栃木県の経済動向 ・高根沢町の経済動向 ・北関東の経済動向
- ③ たんたんプレミアム商品券購入者動向調査  
 実施時期：平成28年8月1日～12月31日  
 調査対象者：商品券購入者 1,090名  
 調査方法：商品券55,000枚の動向追跡調査  
 目的：購買地域の分布・購入者情報等調査
- ④ アンケートによる調査分析回数
  - (1) リフォーム相談会  
 実施時期：平成28年9月25日（日）  
 調査対象者：イベント来場者  
 調査方法：聞き取り調査  
 目的：リフォーム需要動向調査
  - (2) 軽トラ市  
 実施時期：平成28年10月23日（日）  
 調査対象者：イベント来場者  
 調査方法：聞き取り調査  
 目的：新商品等需要動向調査
- ⑤ テストマーケティングによる調査分析実施回数  
 実施時期：平成28年9月25日（日）  
 調査対象者：参加店舗  
 調査方法：新商品の試食販売状況の聞き取り調査  
 目的：新商品の販売状況を調査する
- ⑥ 実施支援に係る情報提供回数  
 商工会HPによる情報提供及びeメール登録者への情報提供。

### (2) 今年度の目標及び実績等

項目	(☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)		
項目	目標	実績	達成率
① 需要動向調査	12回	3回	25.0%
② アンケートによる調査分析回数	9回	2回	22.2%
③ テストマーケティングによる調査分析実施回数	6回	1回	16.7%
④ 当商工会以外の機関が実施する調査による調査分析実施回数	12回	0回	0.0%
⑤ 実施支援に係る情報提供回数	35回	30回	85.7%

### (3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

調査について、職員が巡回調査を行ったが、非効率であるため、当商工会HPから直接アンケート調査や報告できる仕組みを構築したので、次年度から実施したい。

#### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他

\*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
C

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
- B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
- D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(6) 次年度目標

項 目	（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）		29年度	今年度比
① 需要動向調査			12 回	±0 回
② アンケートによる調査分析回数			10 回	+ 1 回
③ テストマーケティングによる調査分析実施回数			8 回	+ 2 回
④ 当商工会以外の機関が実施する調査による調査分析実施回数			12 回	±0 回
⑤ 実施支援に係る情報提供回数			41 回	+ 6 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

- ・ホームページからのアンケート調査を充実させる。
- ・人口を増加させる取り組みを調査できないか。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記3. 事業計画策定支援を行った事業者（ピンポイントで販路開拓を目指す事業者を含む）に対し、上記5. 需要動向調査で得られた情報に基づき、上記4. 事業計画策定後の実施支援の一環として「課題の解決」を目的に実施する。

小規模事業者が苦手とし、手が回らない広報活動や、展示会等の開催等、ITの活用等、需要の開拓に寄与する事業を行う。

小規模事業者に寄り添い、売上げに直結する“具体的な支援”を行うことで、「計画の実効性を高める」効果を図る。

### (1) 実施した事業内容

- ① リフォーム展示・相談会 顧客情報取得件数  
平成28年9月25日（日）10時～17時まで、商工祭イベント時に、来場者向けリフォーム相談会を開催した。
- ② 住まいのリフォーム高根沢新聞広告掲載事業者数  
顧客の新規獲得、消費者への認知度向上・地元密着の安心安全のPRを目的とした、登録事業者名記載の新聞折り込みを実施した。
- ③ ワクワク系の店づくり事業実践事業者数  
顧客の新規獲得、消費者への認知度向上・地元密着の安心安全のPRを目的とした、登録事業者名記載の新聞折り込みを実施した。
- ④ スローライフ推進事業ガイドブック掲載事業者数  
消費者からの事業者認知度向上、地元密着の地元食材を使用した安心・安全さのPRを目的とした飲食業等の事業者を対象としたスローライフ事業への申請を支援した。

### (2) 今年度の目標及び実績等

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① リフォーム展示・相談会 顧客情報取得件数	5 回	5 回	100.0%
② 住まいのリフォーム高根沢新聞広告掲載事業者数	17 者	21 者	123.5%
③ ワクワク系の店づくり事業実践事業者数	3 者	1 者	33.3%
④ スローライフ推進事業ガイドブック掲載事業者数	3 者	1 者	33.3%
⑤ ニッポンセレクト・COM出展事業者数	1 者	0 者	0.0%
⑥ ビジネスマッチング商談会参加事業者数	2 者	3 者	150.0%
⑦ プレミアム商品券事業登録事業者数	170 者	144 者	84.7%
⑧ 自社ホームページ作成事業者数	45 者	45 者	100.0%
⑨ 商工祭ブース出展事業者数	16 者	14 者	87.5%

### (3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

\*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

#### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に適合しているか？必要か？ 妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？  
有効性：成果は上がっているか？効果は？ 効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

### (4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他

\*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

|

|

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえて、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判定

B

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)  
B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)  
C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)  
D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① リフォーム展示・相談会 顧客情報取得件数	6 回	+ 1 回
② 住まいのリフォーム高根沢新聞広告掲載事業者数	18 者	+ 1 者
③ ワクワク系の店づくり事業実践事業者数	4 者	+ 1 者
④ スローライフ推進事業ガイドブック掲載事業者数	4 者	+ 1 者
⑤ ニッポンセレクト・COM出展事業者数	2 者	+ 1 者
⑥ ビジネスマッチング商談会参加事業者数	4 者	+ 2 者
⑦ プレミアム商品券事業登録事業者数	175 者	+ 5 者
⑧ 自社ホームページ作成事業者数	50 者	+ 5 者
⑧ 商工祭ブース出展事業者数	20 者	+ 4 者

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し(改善等)

- ・会員事業者が独自に参加している事業について、商工会が支援できるよう情報収集を図ること。

## 7. 地域経済の活性化に資する取組み

商工会が“地域総合経済団体”として行う、地域経済の活性化に資する取組（地域振興事業）は、経営改善普及事業と一応の区別はできるものの、相互に有機的な関連をもっている。

また、地域経済の活性化は、当地域のブランド化やにぎわいの創出といった地域に密着して事業を行う小規模事業者の振興に直結するものであるため、「面的支援」として取り組んでいく。

これまでは、当商工会独自の方針で地域経済の活性化を推進してきたが、今後は、高根沢町、金融機関、大手企業、高根沢高校等との連携により、「高根沢町定住人口増加プロジェクト」や「まちなか再生たかねざわ学会」に参加し、今後の地域経済活性化の方向性等を検討すると共に小規模事業者が事業を持続的発展させるための良好な環境を整備する。

### (1) 実施した事業内容

#### ① 「創業支援事業計画推進会議」への参画

高根沢町・金融機関・JA・商工会が参加し、創業者に対して「特定創業支援事業」「補助金支援」「不動産情報支援」創業者交流会の開催「創業支援無料経営診断」等を支援した。創業支援者13名内3名が創業した。

#### ② プレミアム付き商品券発行事業の実施

・発行総額 5,500万円 ・プレミアム率10% ・商品券購入者 1,090名  
 ・換金率 99.5% ・大型店での使用率は、39.4%

### (2) 今年度の目標及び実績等

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① “スー爺サンタ”の軽トラ市参加事業所数	20回	15回	75.0%
② 一万燈祭り参加事業所数	5回	5回	100.0%
③ 特産品等開発事業参加事業者数	5回	16回	320.0%
④ プレミアム付き商品券発行事業登録者数	167回	144回	86.2%
⑤ まちなか再生支援事業創業者数	3回	2回	66.7%

### (3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとおと	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

プレミアム商品券発行事業において、大型店の使用比率が39.4%にとどまったことが評価できる。

#### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に適合しているか？必要か？  
 有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？  
 効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

### (4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとおと	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

\*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえて、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判定

B

A : 目標を達成することができた。(100%以上)

B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)

C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)

D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① “スー爺サンタ”の軽トラ市参加事業所数	25 回	+ 5 回
② 一万燈祭り参加事業所数	6 回	+ 1 回
③ 特産品等開発事業参加事業者数	8 回	0 回
④ プレミアム付き商品券発行事業登録者数	170 回	0 回
⑤ まちなか再生支援事業創業者数	4 回	0 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し(改善等)

観光資源の掘り起こしやPR活動の方法等を検討する。



## 8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記Ⅰ. 経営発達支援事業の内容で掲げる6つの事業（＝経営発達支援事業）が「効果的かつ円滑に実施されること」を目的に取り組む。

事業を推進する職員が、他商工会の職員や支援機関と、支援事例や支援ノウハウ、事業者の現状、課題等について情報交換を行う。

また、役員は、他商工会の役員と、支援体制や商工会の現状と課題等について情報交換を行う。

### (1) 実施した内容

- ① 職員協議会第2支部に所属する7商工会の職員同士の情報交換
- ② 第2ブロック商工連絡会議にての情報交換
- ③ 県連が開催する各種セミナーでの情報交換
- ④ マル経協議会での情報交換
- ⑤ 地域内金融機関との情報交換

### (2) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

ブロック内商工会の連携について思うように実施できなかった。

#### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

### (3) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
○ 一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

ブロック内商工会との情報共有化が図られていない。

### (4) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
C

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

### (5) 次年度への見直し（改善等）

ブロック内商工会との情報共有化を図ること。

## 9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記Ⅰ. 経営発達支援事業の内容で掲げる6つの事業（＝経営発達支援事業）が「効果的かつ円滑に実施されること」を目的に取り組む。事業を推進する職員の研修派遣、OJT、勉強会開催により資質向上を図る。

### (1) 実施した内容

- ① 県連が開催する職種別セミナーへの参加
- ② 中小企業大学校への職員派遣
- ③ セルフアッセサーセミナーへの参加
- ④ 内部勉強会の開催
- ⑤ OJTの実施（先輩職員や専門家に同行し支援を行う）

### (2) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

セミナー等へ参加した内容は、必ず「復命書」として書面に残すとともに、OJTにより各職員に伝達することができた。

#### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に適合しているか？必要か？  
有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？  
効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

### (3) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
○ 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

### (4) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定

**B**

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

### (5) 次年度への見直し（改善等）

商工会内で情報の共有化を図ること。

## 10. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記Ⅰ. 経営発達支援事業の内容で掲げる6つの事業（＝経営発達支援事業）が「効果的かつ円滑に実施されること」を目的に取り組む。  
当商工会組織としての支援ノウハウの共有及び蓄積を行う。

### (1) 実施した内容

#### ① 支援ノウハウの組織的な蓄積

### (2) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

経営カルテ等の情報が、記録に留まっており、全職員が共有しながら有効活用できるよう仕組みを構築する。

#### 【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

### (3) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

	拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
○	一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
	縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
	現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

### (4) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定

C

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

### (5) 次年度への見直し（改善等）

経営カルテ等の共有化に向けて情報の大切な意識の高まりが必要ではないか。

## 1 1. 施策利用状況等（その他取組み状況）

### (1) 今年度の実績

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	実績	前年度
①持続化補助金申請件数	22 件	9 件
（うち、採択件数）	9 件	7 件
②経営改善資金（マル経）利用件数	8 件	7 件
③経営発達支援資金利用件数	0 件	0 件
④小規模事業者に対する巡回訪問件数	1500 件	1830 件
⑤小規模事業者数	716 者	716 者
（うち、会員小規模事業者数）	483 者	473 者

### (2) 今年度の実績に対する内部の評価

持続化補助金の申請支援については、申請件数の伸びがなかったが、県内他商工会に対して高い採択率となった。

### (3) 今年度の実績に対する検討委員会の評価（意見等）

個別指導の充実が必要ではないか。

### (4) 次年度に向けた見直し（改善等）

持続化補助金が無くなった時の対策を考えること。